

Drug-induced uveitis related to Checkpoint inhibitors and MAPkinase inhibitors.

Thibault T, Ben Ghezala I, Freppel R, Rajillah A, Boulay C, Brunel P, Atzenhoffer M, Auvens C, Devilliers H, Grandvullemin A.

Ophthalmology. 2023 Oct 9:S0161-6420(23)00716-9.

免疫チェックポイント阻害薬 (ICI) や MAP キナーゼ阻害薬 (MAPKi) に関連する薬剤性ぶどう膜炎についてのショートレポートです。ICI には本庶佑先生が発見した PD-1 をターゲットにした PD-1 阻害薬や PD-L1 阻害薬、CTLA-4 阻害薬が、また、MAPKi には BRAF 阻害薬、MEK 阻害薬がありますが、いずれもその使用によりぶどう膜炎もしくはぶどう膜炎類似の眼所見を生じることがあります。

本報告では、これらの薬剤性ぶどう膜炎を 4 つのクラスターに分類しています。クラスター1は SRD など後眼部所見のみがみられるもの、クラスター2は視神経乳頭浮腫や網膜血管炎を伴うことがある中間部・後眼部所見のみみられるもの、クラスター3は汎ぶどう膜炎がみられるもの、クラスター4は前眼部所見のみがみられるものです。使用した薬剤からの視点では、BRAFi は前部ぶどう膜炎と汎ぶどう膜炎、MEKi は SRD のみの後眼部所見、ICI は前部ぶどう膜炎、汎ぶどう膜炎、後部ぶどう膜炎を伴い、視神経障害や網膜血管炎などの重篤な症状を合併することが多いとしています。

(担当者:北海道大学 南場研一)